

2021年11月11日

上場会社名 東京応化工業株式会社
 コード番号 4186 URL <https://www.tok.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 種市 順昭

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高瀬 興邦

TEL 044-435-3000

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	100,526	16.8	15,087	37.7	15,696	40.0	10,352	40.6
2020年12月期第3四半期	86,088	15.3	10,955	57.5	11,215	59.5	7,362	78.7

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 15,772百万円 (86.4%) 2020年12月期第3四半期 8,461百万円 (126.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	249.47	248.98
2020年12月期第3四半期	177.62	177.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	212,385	164,133	73.3	3,788.39
2020年12月期	201,185	159,994	75.3	3,651.20

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 155,586百万円 2020年12月期 151,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		60.00		94.00	154.00
2021年12月期		62.00			
2021年12月期(予想)				62.00	124.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年12月期における期末配当金の内訳、普通配当64円00銭、記念配当30円00銭

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	14.0	19,200	23.2	19,800	22.8	14,200	43.0	341.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	45,100,000 株	2020年12月期	45,100,000 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	4,030,831 株	2020年12月期	3,591,418 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	41,496,402 株	2020年12月期3Q	41,447,162 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)における世界経済ならびに日本経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響から経済活動が抑制されたため、一部の経済活動において持ち直しの動きがあるものの、厳しい状況が続きました。

このような情勢の下、当社グループは、「豊かな未来、社会の期待に化学で応える“The e-Material Global Company”」という経営ビジョンの下、2021年度を最終年度とする3カ年の中期計画「tok中期計画2021」に掲げた全社戦略の遂行に総力を挙げて取り組んでまいりました。

材料事業においては、5GやIoT等の普及に加え、パソコン、データサーバーやスマートフォン向けの半導体需要が好調に推移したため、売上は前年同期を大幅に上回りました。また、装置事業におきましても、受注済み装置の検収が進んだことから、売上は前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,005億26百万円(前年同期比16.8%増)、営業利益は150億87百万円(同37.7%増)、経常利益は156億96百万円(同40.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は103億52百万円(同40.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 材料事業

当事業の内部取引を除いた売上高は、989億97百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益は、190億5百万円(同29.4%増)となりました。これは、エレクトロニクス機能材料部門および高純度化学薬品部門の売上が好調に推移したことが主な要因であります。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	84,595	98,997	14,401	17.0%
営業利益	14,688	19,005	4,317	29.4%

部門別の概況は、次のとおりであります。

エレクトロニクス機能材料部門の売上高は、前年度を大幅に上回る573億68百万円(前年同期比18.5%増)となりました。これは、中小型液晶パネルの需要環境が変化したことにより、ディスプレイ用フォトレジストの売上が減少したものの、パソコン、データサーバーやスマートフォン向けなどの旺盛な半導体需要に支えられ、アジア地域を中心に半導体用フォトレジストおよび半導体製造の後工程に主に用いられる高密度実装材料の販売が好調に推移し、売上が増加したことが主な要因であります。

高純度化学薬品部門の売上高は、前年度を大幅に上回る413億49百万円(同14.6%増)となりました。これは、半導体製造プロセスに使用される半導体用フォトレジスト付属薬品の販売が好調に推移し、売上が増加したことが主な要因であります。

② 装置事業

当事業の内部取引を除いた売上高は、15億29百万円(前年同期比2.5%増)となり、営業損失は、前年同期比191百万円改善し、2億43百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	1,492	1,529	37	2.5%
営業損失(△)	△434	△243	191	—

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、2,123億85百万円で、前連結会計年度末に比べ111億99百万円増加いたしました。

流動資産につきましては149億38百万円増加いたしました。これは現金及び預金が70億95百万円増加したことに加え、受取手形および売掛金が39億23百万円、たな卸資産が26億56百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定資産につきましては37億38百万円減少いたしました。これは設備投資により有形固定資産が30億49百万円増加したものの、長期預金の短期振替により投資その他の資産が69億44百万円減少したことが主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、482億51百万円で、前連結会計年度末に比べ70億60百万円増加いたしました。これは支払手形及び買掛金が39億31百万円、賞与引当金が8億74百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,641億33百万円で、前連結会計年度末に比べ41億39百万円増加いたしました。為替換算調整勘定が円安により18億58百万円増加し、その他有価証券評価差額金が時価評価により17億55百万円増加したことが主な要因であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は73.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月28日に公表いたしました業績予想数値から変更しておりません。

また、為替相場は105円/\$を想定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症は、今後の経過によっては、当社グループの経営成績および財政状態の状況に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,822	54,918
受取手形及び売掛金	26,302	30,226
有価証券	2,999	3,999
商品及び製品	6,943	8,344
仕掛品	4,197	4,894
原材料及び貯蔵品	6,517	7,076
その他	2,255	2,533
貸倒引当金	△96	△111
流動資産合計	96,943	111,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,664	31,024
その他(純額)	24,447	25,137
有形固定資産合計	53,112	56,161
無形固定資産	620	776
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	3,683	3,927
長期預金	28,000	18,000
その他	18,840	21,649
貸倒引当金	△13	△10
投資その他の資産合計	50,510	43,566
固定資産合計	104,242	100,503
資産合計	201,185	212,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,745	17,677
短期借入金	-	3,900
未払法人税等	2,219	1,974
賞与引当金	2,374	3,249
その他	6,853	8,198
流動負債合計	25,193	34,999
固定負債		
長期借入金	10,962	6,880
退職給付に係る負債	484	512
その他	4,550	5,858
固定負債合計	15,997	13,251
負債合計	41,191	48,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,253
利益剰余金	125,795	129,630
自己株式	△14,477	△17,915
株主資本合計	141,166	141,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,669	9,424
為替換算調整勘定	2,606	4,465
退職給付に係る調整累計額	113	87
その他の包括利益累計額合計	10,389	13,977
新株予約権	304	215
非支配株主持分	8,133	8,332
純資産合計	159,994	164,133
負債純資産合計	201,185	212,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	86,088	100,526
売上原価	56,167	64,751
売上総利益	29,921	35,775
販売費及び一般管理費	18,965	20,687
営業利益	10,955	15,087
営業外収益		
受取利息	70	86
受取配当金	238	237
為替差益	-	321
デリバティブ評価益	212	-
その他	211	132
営業外収益合計	732	778
営業外費用		
支払利息	45	53
デリバティブ評価損	-	52
為替差損	219	-
租税公課	187	-
その他	21	63
営業外費用合計	473	169
経常利益	11,215	15,696
特別利益		
固定資産売却益	150	-
その他	-	0
特別利益合計	150	0
特別損失		
固定資産除却損	32	80
投資有価証券評価損	269	-
環境対策費	-	83
その他	-	1
特別損失合計	301	165
税金等調整前四半期純利益	11,064	15,531
法人税、住民税及び事業税	2,148	3,931
法人税等調整額	38	△18
法人税等合計	2,187	3,913
四半期純利益	8,876	11,618
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,514	1,266
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,362	10,352

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	8,876	11,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	320	1,755
為替換算調整勘定	△698	2,424
退職給付に係る調整額	△38	△26
その他の包括利益合計	△415	4,153
四半期包括利益	8,461	15,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,992	13,939
非支配株主に係る四半期包括利益	1,468	1,832

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2019年8月7日開催の取締役会決議により、当社の福利厚生制度を拡充するとともに、従業員への株価上昇へのインセンティブ付与による当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、「信託型従業員持株プラン」(以下、「本プラン」といいます。)の導入を決議いたしました。

(1) 取引の概要

本プランは、「東京応化社員持株会」(以下、「当社持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「東京応化社員持株会信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定し、従持信託は、その設定後5年間にわたり、当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得し、当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却します。信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、当社が当該残債を弁済することになります。

本プランは、従業員への株価上昇へのインセンティブ付与による当社の中長期的な企業価値の向上を図ると同時に、福利厚生の増進策として、当社持株会の拡充を通じて従業員の株式取得および保有を促進することにより従業員の財産形成を支援することを狙いとしています。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度1,049百万円、251千株、当第3四半期連結会計期間931百万円、223千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度	962百万円
当第3四半期連結会計期間	780百万円

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	84,595	1,492	86,088	—	86,088
セグメント間の内部売上高または振替高	2	46	49	△49	—
計	84,598	1,538	86,137	△49	86,088
セグメント利益または損失(△)	14,688	△434	14,253	△3,298	10,955

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△3,298百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,298百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	98,997	1,529	100,526	—	100,526
セグメント間の内部売上高または振替高	2	56	58	△58	—
計	98,999	1,585	100,584	△58	100,526
セグメント利益または損失(△)	19,005	△243	18,762	△3,674	15,087

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△3,674百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,674百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。